

承認結果<振込振替>

処理日時 2018年11月29日 13時51分31秒

■取引情報

取引ID	181129000346780
受付番号	1129004
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 11月30日
取引名	11月29日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	登呂支店 (132) 普通 0014475
受取人名	カシカソフンヤ
登録名	(株)静岡新聞社

■振込金額

入金金額	56,160円
税込手数料	324円
引落合計金額	56,484円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年11月29日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年11月30日
承認日時	2018年11月29日 13時51分
コメント	静岡新聞データベースplus日経テレコン利用料2アカウント (H30.11月分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は11月30日扱いです。

請求書

〒420-8601
静岡市 葵区 追手町 9-6

平成 年 月 日

自民改革会議 御中

静岡市駿河区登呂3丁目1番1号

株式会社静岡新聞社

代表取締役 大石

電話 054-284-9661



件名 静岡新聞データベースplus日経テレコン利用料

下記のとおりご請求申し上げます。

静岡新聞データベースをご利用下さいまして有り難う
ございます。ご不明な点がございましたら、請求担当
幸田までお問い合わせ下さい。

振込銀行 静岡銀行登呂支店(普)0014475

口座名義 株式会社静岡新聞社

※恐れ入りますが振込手数料はお客様にてご負担下さい

御請求金額 56,160 円 (消費税込)

項目	摘要	数量	単価	金額
1	11月分	2	26,000	52,000
	以下、余白			
			小計	52,000
			消費税	4,160
			合計	56,160

<備考>

整理番号	11-2
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・ <u>資料購入費</u> ・事務費・事務所費・人件費		
内 容	新聞購読料 (静岡・読売・毎日・朝日・産経・中日・日経・木材)		
年 月 日	平成 30年 11月 1日～平成 30年 11月 30日	金 額	50,820 円

目 的	調査研究に関する情報収集
使 途	平成 30年 11月分 購読料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動の調査研究における情報資料

《領収書貼付枠》

領収証 (口座振替)

01 017 077 自民改革会議 振

品名	数量	単価	金額	領収金額 (含消費税)
朝日新聞朝刊	2	3,353	6,706	6,706 円

2018 年 11 月分
領収致しました。
年 月 日

12/10は休刊日です。今月の集金額は11/16で計算しております。

静岡中央新聞販 (株)
静岡市葵区追手町7番1号
フリーダイヤル 0120-70-1331 本店 054-255-1331

※ 領収書は、本領収書と併せて保存下さい。本領収書の他を訂正したものは無効です。

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	50,820 円	100%	50,820 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。



〒420-0853
 静岡市葵区
 追手町
 県庁本館
 3F
 自民改革会議

<金融機関口座振替済>

領収証

(21-06) 【お客様照会番号】
 30年 11月分

ご購入ありがとうございます
 ございます。

講読紙	数	金額
毎日新聞 朝刊	2	6,706
日本経済 朝刊	1	4,400
産経新聞 朝刊	2	6,068
合計		*****

取継所 八千代町

30年 11月 26日
 文字訂正印,領収印無きは無効

株式会社 **近嶋新聞店**
 本店/静岡市葵区七間町3番地の20
 ☎420-0035 TEL (054)255-2231(代)
 ☎ 0120-40-2083

[内税]

ご愛読ありがとうございます
 上記新聞代金正に領収致しました



〒420-0853
 静岡市葵区
 追手町
 県庁本館
 3F
 自民改革会議

<金融機関口座振替済>

領収証

(21-06) 【お客様照会番号】
 30年 11月分

ご購入ありがとうございます
 ございます。

講読紙	数	金額
木材新聞	1	6,200
合計		¥23,374

取継所 八千代町

30年 11月 26日
 文字訂正印,領収印無きは無効

株式会社 **近嶋新聞店**
 本店/静岡市葵区七間町3番地の20
 ☎420-0035 TEL (054)255-2231(代)
 ☎ 0120-40-2083

[内税]

ご愛読ありがとうございます
 上記新聞代金正に領収致しました

領収証

自民改革会議 様

〒420-0853 静岡市葵区追手町

品名	部数	金額
静岡新聞セット	2	5,960
読売新聞朝刊	2	6,706
合計		12,666

株式会社 高山新聞店
 〒420-0042 静岡市葵区馬場町3-3-3
 TEL:0544-2552044
 FAX:0544-2552044

ご購入代金を振込・口座振替・クレジット決済
 集金にて領収させていただきます。

新聞購読、誠に
 有難うございます。
 上記の金額
 正に領収致しました。

領収証

自民改革会議 様

〒420-0853 静岡市葵区追手町

品名	部数	金額
中日朝夕刊セット	2	8,074
合計		8,074




株式会社 近嶋新聞店
 〒420-0035 静岡市葵区七間町3番地の20
 TEL:054-255-2231(代)

ご購入代金を振込・口座振替・クレジット決済
 集金にて領収させていただきます。

新聞購読、誠に
 有難うございます。
 上記の金額
 正に領収致しました。

日頃よりご愛読いただき誠にありがとうございます
 ☆☆☆トランプ・ガレッジ-2019☆☆☆
 ☆定価:1,265円(税込)総費発売中☆

整理番号	11-3
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請陳情等謝費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	自民改革会議ホームページ更新費用		
年月日	平成 30年 11月 30日～平成 年 月 日	金額	23,760 円

目的	県政に係る情報等を県民に報告
使途	平成30年11月分 更新料
政務活動・ 県政との 関連性	県の施策、議会での発言内容、政務活動状況などを掲載し、情報を広く伝えるとともに意見を聴取し、県政に反映させる。

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	23,760 円	100%	23,760 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

処理日時 2018年11月29日 13時49分47秒

■取引情報

取引ID	181129000344021
受付番号	1129003
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 11月30日
取引名	11月29日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	ささがせ支店 (374) 普通 0480639
受取人名	イマクロデザイン コレトコ
登録名	イマクロデザイン

■振込金額

入金金額	56,160円
税込手数料	324円
引落合計金額	56,484円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年11月29日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年11月30日
承認日時	2018年11月29日 13時49分
コメント	会派HP更新費用 (H30.11月分) __23,760円 政務活動費管理システム保守サポート費用 (H30.11月分) __32,400円

振込依頼を受付けました。
振込依頼は11月30日扱いです。

領収書

2018年11月30日

自民改革会議様

Imacro Design 
マクロ デザイン
 〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
 TEL 053-422-7017/FAX 053-571-5112
 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥23,760 (内消費税 ¥1,760)**

収入

印紙




(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
H30年11月分更新費用、サーバレンタル費用	22,000	1	¥22,000

税抜合計金額 ¥22,000

消費税額 ¥1,760

整理番号	11-4
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費 <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内 容	政務活動費管理システム保守サポート費用		
年 月 日	平成 30年 11月 30日~平成 年 月 日	金 額	32,724 円

目 的	県政に係る情報等を県民に報告		
使 途	平成 30年 11月分 保守料		
政務活動・ 県政との 関連性	_____		
<<領収書貼付枠>> 56,484 円のうち、政務活動費管理システム保守サポート費用 32,400 円+振込み手数料 824 円 =32,724 円 を充当する。			
按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる もの。	32,724 円	/	32,724 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

領収書

2018年11月30日

自民改革会議様

I macro Design 
イマクロデザイン
 〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
 TEL 053-422-7017/FAX 053-571-5112
 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥32,400 (内消費税 ¥2,400)**

収入




印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
H30年11月分 政務活動費管理システム保守サポート費用	30,000	1	¥30,000

税抜合計金額	¥30,000
消費税額	¥2,400

整理番号	11-5
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	コピー機リース料		
年月日	平成 30年 11月 5日～平成 年 月 日	金額	15,540 円

目的	政務活動を行う為の資料作成手段
使途	平成 30年 11月分 リース料 (役員室・大部屋分)
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	15,540 円	100%	15,540 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

自民改革会議 御中

発行日 2018年11月07日
 領収証番号 0000001125

領 収 証

リコーリース株式会社



東京都江東区東雲1-7-12

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
 下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

印紙税申告納付につき江東西
 税務署承認済

領 収 日	2018年11月5日
領 収 額	15,540円




お支払方法	口座振替
振替口座	シンカイカクカイキ ヤフタ ヒロユキ <small>口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。</small>

領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等
[REDACTED]	18.11.1 ~ 18.11.30	56	14,800	740

続きは裏面をご覧ください。

整理番号	11-6
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費 (事務費) 事務所費・人件費		
内 容	プロバイダー料金		
年 月 日	平成 30年 11月 30日～平成 年 月 日	金 額	3,564 円

目 的	政務活動に関する情報収集の為のプロバイダー
使 途	平成 30年 11月分 プロバイダー料
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	3,564 円	100%	3,564 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

承認結果<振込振替>

処理日時 2018年11月29日 13時47分50秒

■取引情報

取引ID	181129000338723
受付番号	1129002
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 11月30日
取引名	11月29日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	県庁支店 (128) 普通 0307183
------	-----------------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	XXXXXXXXXXXX
受取人名	かトコちゃんねるオカ
登録名	(株)トコちゃんねる静岡

■振込金額

入金金額	3,456円
税込手数料	108円
引落合計金額	3,564円

■依頼者情報

依頼者	XXXXXXXXXX
依頼日	2018年11月29日

■承認者情報

承認者	XXXXXXXXXX
承認期限	2018年11月30日
承認日時	2018年11月29日 13時47分
コメント	プロバイダ料 (H30.11月分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は11月30日扱いです。

〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 御中



請 求 書

自民改革会議 御中

請求No. 2018110058

2018年11月8日

〒424-0888 静岡市清水区中之郷2-1-5
株式会社 トコちゃんねる静岡

TEL054-347-9811 (担当)

下記の通り御請求申し上げます。

請求金額 ¥3,456 -

摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額
ひかりファミリー隼コース(月払) 2018年11月分	2	ID	¥1,600	¥3,200
小 計				¥3,200
消 費 税 (8 %)				¥256
合 計				¥3,456

お支払いは下記銀行弊社口座へ2018年12月 末迄にお振り込み下さい。

静岡銀行 草薙支店

口座番号 普通口座 No. 0645922

口座名義 株式会社トコちゃんねる静岡

※振込手数料につきましては、貴社負担にてお願いいたします。

整理番号	10-7
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	--	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費 (事務費) 事務所費・人件費		
内容	静岡銀行 Web・PCバンキング利用料、データ伝送利用料		
年月日	平成 30年 12月 17日～平成 年 月 日	金額	5,400 円

目的	県議への政務活動費振込み手段
使途	平成30年11月分 システム利用料
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	5,400 円	100%	5,400 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	11-8
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	電話料金 (県庁議員控室、自民改革会議事務局)		
年月日	平成 30年 11月 30日～平成 年 月 日	金額	7,485 円

目的	政務活動を行う為の通信手段																																	
使途	H30年9月分 電話料																																	
政務活動・ 県政との 関連性	<p>※納付場所等は裏面を御覧下さい。</p> <p style="text-align: center;">静岡県 納入通知書兼領収書 公</p> <p style="text-align: right;">24</p> <p>420-0853 静岡県静岡市葵区追手町 9-6</p> <p>自民改革会議 代表 中沢 公彦 様</p>																																	
<領収書貼付枠> <small>ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又はＡＴＭでお支払いの場合は、左側一枚をお出しください。</small>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>年度</td> <td>平成30年度</td> <td>会計科目</td> <td colspan="3">会計 01款 14 項 07 目 02 節 07</td> </tr> <tr> <td>収納機関番号</td> <td>22000</td> <td>納付番号</td> <td colspan="3">18000 01013 00000 14049</td> </tr> <tr> <td>調定番号</td> <td>1800426-</td> <td>1</td> <td>確認番号</td> <td>091417</td> <td>納付区分</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="2">7,485 円</td> <td>納期限</td> <td colspan="2">平成30年12月10日</td> </tr> <tr> <td colspan="3">所属名 (連絡先) 経営管理部 財務局</td> <td colspan="3">電話: 054-221-2123</td> </tr> </table> <p>ただし 県庁舎管理費負担金 N T T電話使用料 (平成30年9月分)</p> <p>上記の金額を納期限までに納めてください。 平成30年11月26日</p> <p>静岡県知事 </p> <p style="text-align: right;">上記の金額を領収しました。 </p>			年度	平成30年度	会計科目	会計 01款 14 項 07 目 02 節 07			収納機関番号	22000	納付番号	18000 01013 00000 14049			調定番号	1800426-	1	確認番号	091417	納付区分	315	金額	7,485 円		納期限	平成30年12月10日		所属名 (連絡先) 経営管理部 財務局			電話: 054-221-2123		
年度	平成30年度	会計科目	会計 01款 14 項 07 目 02 節 07																															
収納機関番号	22000	納付番号	18000 01013 00000 14049																															
調定番号	1800426-	1	確認番号	091417	納付区分	315																												
金額	7,485 円		納期限	平成30年12月10日																														
所属名 (連絡先) 経営管理部 財務局			電話: 054-221-2123																															

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	7,485 円	/	
		100%	7,485 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	11-9
------	------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	PCリース料		
年月日	平成 30年 12月 7日~平成 年 月 日	金額	10,476 円




目的	政務活動を行う為のPC
用途	平成30年度 11月分 PCリース料
政務活動・ 県政との 関連性	_____

5					
年月日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備考
1 30-11-30	BF				
2 30-11-30	BF				
3 30-11-30	BF				
4 30-11-30	BA				
5 30-11-30	AA				
6 30-12-04	BF				
7 30-12-07	BF	*10,476	HC)ヒタ子C-NBL		
8 30-12-10	FF				
9 30-12-10	BF				
10					
11					
12					

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	10,476 円	100%	10,476 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。


整理番号	11-10
------	-------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	郵送料		
年月日	平成 30年 11月 29日～平成 年 月 日	金額	82円

目的	政務活動費書類送付の為																								
使途	郵送料 1通分																								
政務活動・ 県政との 関連性	<p>領収書</p> <p>自民改革会議 様</p>																								
《領収書貼付枠》	<p>[証紙切手引受]</p> <table border="0"> <tr> <td>第一種定形</td> <td>14.0g</td> </tr> <tr> <td>⑧2</td> <td>1通 ¥82</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>¥82</td> </tr> <tr> <td>郵便物引受合計通数</td> <td>1通</td> </tr> <tr> <td>課税計</td> <td>¥82</td> </tr> <tr> <td>(内消費税等)</td> <td>¥6)</td> </tr> <tr> <td>非課税計</td> <td>¥0</td> </tr> <tr> <td>△計</td> <td>¥82</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>¥82</td> </tr> <tr> <td>お預り金額</td> <td>¥100</td> </tr> <tr> <td>おつり</td> <td>¥18</td> </tr> </table> <p>〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 取扱日時：2018年11月29日 14:52 担当：  発行No. 181129A4625 端N67箱01 連絡先：静岡県庁内郵便局 TEL:054-254-9810</p>			第一種定形	14.0g	⑧2	1通 ¥82	小計	¥82	郵便物引受合計通数	1通	課税計	¥82	(内消費税等)	¥6)	非課税計	¥0	△計	¥82	合計	¥82	お預り金額	¥100	おつり	¥18
第一種定形	14.0g																								
⑧2	1通 ¥82																								
小計	¥82																								
郵便物引受合計通数	1通																								
課税計	¥82																								
(内消費税等)	¥6)																								
非課税計	¥0																								
△計	¥82																								
合計	¥82																								
お預り金額	¥100																								
おつり	¥18																								

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの。	82円	100%	82円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

承認結果<振込振替>

処理日時 2018年11月29日 13時53分11秒

■取引情報

取引ID	181129000350930
受付番号	1129005
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 11月30日
取引名	11月29日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	████████████████████
------	----------------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	藤枝駅支店 (166) 普通 0128539
受取人名	か)ヤマトウアンドウ
登録名	㈱島村膳文堂

■振込金額

入金金額	4,639円
税込手数料	108円
引落合計金額	4,747円

■依頼者情報

依頼者	██████████
依頼日	2018年11月29日

■承認者情報

承認者	██████████
承認期限	2018年11月30日
承認日時	2018年11月29日 13時53分
コメント	文房具 (H30.11/20×切分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は11月30日扱いです。

No. 07727

領 収 証

印
紙

自民改革会議 様

金額	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
			7	4	6	3	9	

但 文具代



上記金額正に領収致しました

平成 30 年 11 月 30 日

内 訳

現金		円
小切手		円
手形	/	円
振込		円
相殺		円

オフィス用品専門店
 株式会社 島村 膳文堂
 代表取締役 島村 武慶
 前岡山藤枝市田沼1丁目15-8
 TEL (054) 635-1305代
 FAX (054) 635-1309

請求書

発行年月日	請求番号	ページ
2018/11/20	2084-01	1/1

〒420-0853

静岡県葵区追手町9-6

株式会社 豊田物産 文堂

代表取締役 豊田 武慶

得意先コード

御中

2018年 11月 20日 締切

2枚

〒426-0061 静岡県藤枝市田沼1丁目15番8号
 TEL(054) 635-1305 FAX(054) 635-1309
 FAXフリーダイヤル 0120-371305

取引銀行/清水銀行/藤枝駅前支店 普通 57951
 静岡銀行/藤枝駅前支店 普通 128539
 藤田信用金庫/藤枝支店 普通 156132
 静岡信用金庫/藤枝支店 普通 290998
 静岡信用金庫/高洲支店 普通 54878



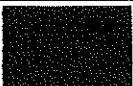
下記の通り御請求申し上げます。

前回請求額	今回入金額	繰越残高	今回御買上額	消費税	今回御請求額
7,777	7,777	0	4,295	344	4,639

年月日	伝票No.	取区	商	品	名	数量	単位	単価	金額	入金金額	残高金額	備考
2018/10/31	150957	33								7,777	0	43066402
2018/11/02	407936	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		642.00	642		642	43066402
2018/11/02	407936	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		47.00	47		689	43066402
2018/11/02	407936	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		47.00	47		736	43066402
2018/11/02	407936	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		684.00	684		1,420	43066402
2018/11/02	407936	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		3.00	-3		1,417	43066402
2018/11/02	407937	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		2,878.00	2,878		4,295	43066403
2018/11/02	407937	11	セアラ	ホ-ルパ-ン	シ-ムリカRB-100-BK黒	1		0.00	0		4,295	43066403

1)売上 12)返品 13)値引 31)現金入金 32)小切手入金 33)振込入金 34)手形入金 35)集金時値引 36)相殺 38)その他入金 40)銀行引落 41)アスル銀行引落

整理番号	11-12
------	-------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請謝等謝費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ <u>人件費</u>		
内 容	事務員雇用		
年 月 日	平成 30年 11月 30日～平成 年 月 日	金 額	467,010 円

目 的	政務活動を補助する職員を雇用
使 途	H30年 11月分 給与
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる もの。	467,010 円	/	467,010 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

平成30年11月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 様
所属

支給日 平成30年11月30日

受領印

勤 務		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	21.00	基本給(月給)	230,000	健康保険料	11,724	年末調整還付	0
				介護保険料	1,884	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	7,560	厚生年金保険	21,960		
				社保料調整	0		
		前月修正	0	雇用保険料	713	合 計	0
				所得税	4,550	差引支給額	183,429
				住民税	13,300		
						振 込 支 給 額	
						合 計	183,429
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,092
						特定保険料	4,632
						社会保険料計	36,281
		合 計	237,560	合 計	54,131		

税 額 表	甲欄
扶 養 人 数	0

平成30年11月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 様
所属




支給日 平成30年11月30日

受領印

勤 務		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	21.00	基本給(月給)	210,000	健康保険料	10,747	年末調整還付	0
				介護保険料	0	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	19,450	厚生年金保険	20,130		
				社保料調整	0		
		前月修正	0	雇用保険料	688	合 計	0
				所得税	3,980	差引支給額	182,005
				住民税	11,900		
						振 込 支 給 額	
						合 計	182,005
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,246
						社会保険料計	31,565
		合 計	229,450	合 計	47,445		

税 額 表	甲欄
扶 養 人 数	0

整理番号	11-13
------	-------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ <u>人件費</u>		
内 容	社会保険料事業主負担分 10月分		
年 月 日	平成 30年 11月 30日~平成 年 月 日	金 額	67,779 円

目 的	政務活動を補助する職員の社会保険料
使 途	H30 年度 10 月分 事業主負担分
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> 10月分社会保険料 請求額 134,224 円のうち、事業主負担分 67,779 円を充当。	

按分の理由 全て政務活動にかかる もの。	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	67,779 円	100%	67,779 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

納入告知書 納付書 領収証書

国庫金

厚生保険

年度 年金特別会計 内閣府及び厚生労働省管 取扱庁番号

30 0343 6375 00064145

取扱庁名

厚生労働省年金局(静岡)



納付目的年月

平成 30年 10月分

納付期限

平成 30年 11月 30日

右記のとおり納付してください。

平成 30年 11月 20日

健康勘定
健康保険料
48710 円

厚生年金勘定
厚生年金保険料
84180 円

子ども・子育て支援勘定
子ども・子育て拠出金
1334 円

納付目的
健康保険料
厚生年金保険料
子ども・子育て拠出金
平成30年度

事業所整理記号 事業所番号

うち証券受領 円

証券受領
全部 一部

合計額						
千	百	十	億	千	百	十
				1	3	4
万	千	百	十	円	角	分
				2	2	4

内閣府及び厚生労働省所管
年金特別会計

収納機関番号 納付番号 確認番号

005001218390100017403757078

納付場所 日本銀行本店、支店、代理店、歳入代理店又は日本年金機構

静岡 年金事務所

延滞金の計算方法 期限内に完納されなかったときは、延滞金の納付を要します。
(健康保険法第181条、同法附則第9条、厚生年金保険法第77条、
同法附則第17条の14、子ども・子育て支援法第91条) 延滞金は、
弁済の充当の順序は、元本に充て、次に延滞金に充てます。

歳入徴収官
厚生労働省年金局事業管理課長



420-8601 静岡市 葵区 追手町
9-6

自民改革会議

3010

様

上記の合計額を領収しました。

(領収日付印)

30.11.30

(納付者渡し)

この納入告知書(納付書)はPay-easy(ペイジー)対応のATM、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。

翌年度5月1日以降現年度歳入組入

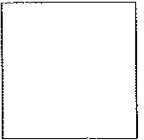
平成30年10月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 XXXXXXXXXX 様

所属 XXXXXXXXXX

支給日 平成30年10月31日



受領印

勤 務		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	22.00	基本給(月給)	230,000	健康保険料	11,724	年末調整還付	0
				介護保険料	1,884	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	7,560	厚生年金保険	21,960		
				社保料調整	0		
		前月修正	0	雇用保険料	713	合 計	0
				所得税	4,550	差引支給額	183,429
				住民税	13,300		
						振 込 支 給 額	
						合 計	183,429
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,092
						特定保険料	4,632
						社会保険料計	36,281
		合 計	237,560	合 計	54,131		

税 額 表	甲欄
扶 養 人 数	0

平成30年10月分給与 明細書

自民改革会議

氏名 XXXXXXXXXX 様

所属 XXXXXXXXXX

支給日 平成30年10月31日



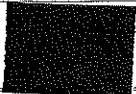


受領印

勤 務		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	22.00	基本給(月給)	210,000	健康保険料	10,747	年末調整還付	0
				介護保険料	0	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	19,450	厚生年金保険	20,130		
				社保料調整	0		
		前月修正	0	雇用保険料	688	合 計	0
				所得税	3,980	差引支給額	182,005
				住民税	11,900		
						振 込 支 給 額	
						合 計	182,005
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,246
						社会保険料計	31,565
		合 計	229,450	合 計	47,445		

税 額 表	甲欄
扶 養 人 数	0

整理番号	11-17
------	-------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	コピーカウント料 (事務局・県庁 自民改革会議議員控室分) 11/20 検針分		
年 月 日	平成 30 年 11 月 30 日・平成 年 月 日	金 額	104,300 円

目 的	資料等のコピー
使 途	平成 30 年 11 月分 カウント料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動に関する資料作成

《領収書貼付枠》

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる もの。	104,300 円	/	104,300 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

承認結果<振込振替>

処理日時 2018年11月29日 13時45分42秒

■取引情報

取引ID	181129000335838
受付番号	1129001
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 11月30日
取引名	11月29日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	駅南支店 (124) 当座 0000833
受取人名	リコー ジャパン
登録名	リコー ジャパン (カ)

■振込金額

入金金額	103,976円
税込手数料	324円
引落合計金額	104,300円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2018年11月29日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2018年11月30日
承認日時	2018年11月29日 13時45分
コメント	コピーカウント料 (H30.11/20 〆切分)

振込依頼を受けました。
振込依頼は11月30日扱いです。

処理日時 2018年11月29日 13時56分06秒

■取引情報

取引ID	181129000355515
受付番号	1129006
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 11月30日
取引名	11月29日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	██████████
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	本店営業部 (111) 普通 0775568
受取人名	システムサービス㈱
登録名	静鉄観光サービス㈱

■振込金額

入金金額	885,850円
税込手数料	324円
引落合計金額	886,174円

■依頼者情報

依頼者	██████████
依頼日	2018年11月29日

■承認者情報

承認者	██████████
承認期限	2018年11月30日
承認日時	2018年11月29日 13時56分
コメント	女川原発視察代 (11/14~16) 7名分

振込依頼を受けました。
振込依頼は11月30日扱いです。

11月14日～11月16日
静岡県議会 自民改革会議 様
参加者名簿

(敬称略)

NO.	議員氏名	フリガナ	参加期間
1	森 竹治郎	モリ タケジロウ	11月14日 伊豆急下田～11月16日 伊豆急下田
2	多家 一彦	タガ カズヒコ	11月14日 三島～11月15日 三島
3	落合 慎悟	オチアイ シンゴ	11月15日 石巻～11月15日 藤枝
4	小楠 和男	オグス カズオ	11月14日 浜松～11月16日 浜松
5	藪田 宏行	ヤブタ ヒロユキ	11月14日 静岡～11月16日 静岡
6	渡瀬 典幸	ワタセ ノリユキ	11月14日 袋井～11月16日 袋井
7	野崎 正蔵	ノザキ ショウゾウ	11月14日 豊田町～11月16日 豊田町

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

県外調査概要書

平成30年11月17日

会派名・議員氏名 自民改革会議

森 竹治郎

目的 中部電力浜岡原発の津波対策工事の完成し、今後国の審査、地元への意見等を踏まえて再稼働が政治課題とされてくる。この採行時に、東北電力の女川原発の東日本大地震・大津波の経験を踏まえ、現場を視察することが重要である。

年月日 平成30年11月14日～16日

場所 宮城県牡鹿郡女川町坂元字前田123番地 外

内容

- 1 行程
- 2 応対者
- 3 聴取内容

1.2.3に関しては、別紙報告書参照
11月15日東北電力 女川原子力発電所

4 県政への反映 女川原発は1号機は廃炉予定。2、3号機を再稼働(2021年)の予定。2、3号機の津波・地震(液状化等)防波対策工事中。23年3月11日の大地震・津波では、1号機・3号機が通電運転中、2号機は原子炉起動中であつた。全1、2、3号機共に設計どおり自動停止となつた。自国から津波対策(防潮堤の高さ)耐震工事、土留対策、溢水対策、非常用ディーゼル発電機の設置等々を配り、更にその強化に取り組んでいった。又被災(3.11津波)直後から地域住民360人が施設内の仮宿舎を避難場所としていた。尚、2号機・3号機の原子炉安全工事は、3500億円の予算との説明であつた。地域住民も女川原発に對し、又東北電力の原子炉安全工事等に対して、信頼を失ふ様子、説明不足であつた。地域住民が安心、信頼があるからと、施設内に仮宿舎等を設ける避難所を長くしていたのであつた。一方、南東北に巨大津波・地震の震源地に在る

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年11月17日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 森 竹治郎</p>						
目的						
年月日	平成30年11月14日～16日					
場所						
内容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>1.2.3に関しては、別紙報告書参照</p> <p>4 県政への反映 三浦川原究は、どうであろうか。周辺住民の信頼はあるのか。被害に 対しての心配はどうであるのか。避難対策は万全であるのか。冬季 に巨大津波被害が発生し、被害が生じた際に、駿河湾の対岸の 南伊豆町、松崎町、西伊豆町方面への影響は無いのか。季節風は 駿河湾を越えて西浜岸（伊豆半島）に吹いてくる。 三浦川原究再稼働には、またまた検討すべき課題がある。車比 電力女川原究視察は、多いに参考となり事があった。</p>					

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

県外調査概要書

平成30年11月17日

会派名・議員氏名 自民改革会議 森 川 治 郎




目的	
----	--

年月日	
-----	--

場所	
----	--

県政への 反映 内 容	<p>11月14日 宮城県石巻市・石巻市森高画館 15:00~16:30 の施設は、石巻港の近くに在りながら、三陸の漁業の津波被害等 を考慮した丸型の館であった。津波の波を丸型構造等で波力を減衰 する効果があるとの。館の周辺はがれきりで埋め尽くされたが、この館は 震災で被害が少なく地域の人達(40名)が逃げ込み館内で5日間の 避難生活を送った。本県でも、海岸に近い、浸水危険区域等では 止むを得ず構造物を建てるときは耐震性に加えて耐津波の検討が 重要となってくる。今後、避難タワー、ビル等の橋梁に参考となる。</p> <p>11月15日 仙台市ことし体験フーズ 15:00~16:00 仙台市では、小中学生の段階でこの施設を利用して体験型経済教育を 実施している。施設内の模擬店の様子、銀行、商店、新聞社等を 巡り、こども達には貴重な体験を学んでいくことが出来る。 中学生になると一家の生活設計について4割の家計(食費、学費、税金、住宅 費、保険等)を学ぶことが出来る。大人になるとお金の性質を持つ1家の 生活が出来るようになる。カード社会、現金取り扱い無し商店等が増えて くる。子供達に、使い過ぎが心配となる。本県でも中学生、高校生にこのよりの 体験型経済教育が必要となってくる。特に18才成人になると 尚更に必要となる。</p> <p>11月16日 8:00~10:00 史跡 陸奥国分寺・尼寺ガクシス施設。 天守時代から今日の仙台市の歴史、遺跡、文化、教育等を判り易く 説明した施設である。小学生や高齢者が入館し学んでいたところ があった。子供達に郷土の歴史や文化、伝統等をしっかりと学んでもらう が、郷里を愛し、郷里に誇りを感じてもらいたい。本県でも必要となる。</p>
-----------------------	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成 30年 11月 18日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 多家 一彦</p>						
目的	東北電力女川原子力発電所の防災安全対策 3. 11東日本大震災時に 住民の避難拠点となった石巻、石ノ森漫画館の視察					
年月日	H30, 11, 14~16					
場所	会派報告書による					
内容	1 行程 会派報告書による 2 応対者 会派報告書による 3 聴取内容 会派報告書による 4 県政への反映 女川原子力発電所の震災後の対応について確認調査をした。 震災後に竣工した免震建屋である事務所会議室の地震対応 がなされているとの話は、中部電力と同規模と感じた。又、 発電所構内は今も様々な工事が行われており、海拔29Mの 防潮堤、高台設置の空冷式ディーゼル発電機、各種の地震津 波対策車輛等、充実した整備が進められていた。石巻の石ノ 森漫画館は石ノ森章太郎の漫画を基に中心市街地のシャッ ター通りを立て直すため「漫画による町おこし」をコンセプ トにし造られた。しかし3. 11の大震災は大津波に襲われ た。石巻の中心市街地の中で命山にふさわしく、多くの被災 者を救援する拠点となった。被災地域に被災施設として建て られた建造物ではないが、いざという時に命山の役割を果た している点は、参考になった。					

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

平成30年 11月 18日

自民改革会議 落合慎悟

1. 2. 3 別紙報告書参照

4. 暴飲への反映

東北電力(女川)原子力発電所

原子力発電所の安全性向上に向けた取り組みについて説明を受けた。

2011年三陸沖地震では牡鹿半島全体が約1m沈下したこと、発電所の敷地が13.8mで押し寄せた津波の高さが、約13mだったために、お陰で助かったことなどを伺う。

当初、東北電力は過去の津波想定を3mと予測し、専門委員会の意見を踏まえ14.8mとしていた。




地震後検討し、さらに安全性を考慮し、海拔29mの防潮堤を築き、電源冷却機能強化を図っていることを確認した。

しかし、想定はいつも覆される。安全に限度はない、安全装置に頼るだけではだめだ。

担当職員の技術継承をしっかりと行うことが大事である。現代の技術者は安全装置で守られているため、経験がなく危機意識が乏しい、指示待ち人間が多くなっている。





スリーマイル原発事故のように訓練で事故を起こしてしまうことの無い様に常に緊張感を持って取り組む姿勢が大切と感じている。



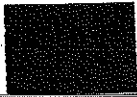
*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>平成 30 年 11 月 18 日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 小楠 和男</p>						
目 的	報告書参照					
年 月 日	平成 30 年 11 月 14 日 (水) ~16 日 (金)					
場 所	宮城県石巻市内・女川原子力発電所・仙台市内					
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p style="text-align: center;">} 別紙 報告書参照</p> <p>4 県政への反映 石ノ森萬画館は、旧北上川の中州にある施設で東日本大震災の当日、迫りくる津波の恐怖に耐えながら、施設内にとどまり被災者を収容し、その後、避難所としての運営を指揮した職員の話聞いた。公共施設の立地の在り方と、様々な災害への耐久性の確認、非常食の備蓄についての重要性を確認した。</p> <p>女川原子力発電所は東日本大震災の震源地から最も近い原子力発電所でしたが、原子炉は正常に停止し、津波も施設には影響無かったとのこと。現在、津波に対する防潮堤のかさ上げ工事や、非常電源の確保など再稼働に向けての対策が進んでいます。これらは浜岡原子力発電所と同様の工事と</p>					



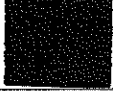
*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

<p>内 容</p>	<p>とらえましたが、再稼働に至るまでの地元合意の形成については、対象市町の数やその関係など、女川に比べてわが県の浜岡はハードルが高いように感じられた。</p> <p>仙台子どもプラザは小学生、中学生が家庭の収支や企業の経営について体験学習する施設でした。実学の重視が求められる中、小中学生段階から社会の一端を経験することは高校や大学への進路を考える上でのおおきな効果があると思いました。</p> <p>陸奥国分寺、尼寺ガイダンス施設は文化財保護の優等生と思われる施設でしたが、仙台市の財政力があればこそとも思われます。史跡全体の買収を進めつつ維持管理を行っていますが、市街地中心部のほど近い場所にもかかわらず広大な敷地を有する史跡はうらやましくもありますが、史跡や文化財と地域住民との共存について考えさせられました。</p>
------------	---

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年11月18日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 藪田 宏行 </p>						
目的	<p>女川原発と石ノ森漫画館にて2011年3月11日の東日本大震災の被災状況と現状の調査と仙台子ども体験プラザと陸奥国分寺等の活動の状況を調査</p>					
年月日	平成30年11月14日～16日					
場所	報告書					
内容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 以上1.2.3に関しては報告書 会派11-15参照</p> <p>4 県政への反映 女川原子力発電所では、PR館内や発電所構内を回りながら被災状況や防潮堤のかさ上げや今後に向けての対策等説明を聞きました。浜岡原子力発電所とは地形等違いはあるもののそれぞれ防災減災対策に工夫が見られ、県政においても浜岡原子力発電所の安全対策に引き続き注視し情報公開に努めていく所存です。石ノ森漫画館では被災後も多くの方の尽力で再開にこぎつけたそうですが、中でも職員として強力にリーダーシップを発揮された大森次長の力は大きいと思います。静岡県政においても人づくり、リーダーの養成、育成が大事であり今後の活動に生かしていきたいと思います。仙台子ども体験プラザでは体験型経済教育が行われており、静岡県も参考にすべきだと思います。陸奥国分寺・国分尼寺では貴重な史跡の由来から現状まで説明を受けました。史跡の発掘、調査研究にはお金と年月がかかりますが、長期構想と保存計画をしっかりと立てて将来に伝えていかなければなりません。</p>					

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年11月18日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 渡瀬典幸</p>						
目的	宮城県の復興対策と原発の現状と課題を調査する					
年月日	平成30年11月14日(水)～16日(金)					
場所	宮城県石巻市、仙台市 他					
内容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政への反映</p> <p>東日本大震災から復興を遂げつつある宮城県にて視察を実施した。</p> <p>石巻市に所在する「石ノ森萬画館」においては、震災から現在までの状況の説明を受けた。特に、震災当日から石ノ森萬画館再開までの苦労と努力の説明では、唯一、一人だけ館内に残った大森盛太郎氏のリーダーシップと行動力には頭が下がる思いである。もちろん、館内に取り残された人たちの協力があったのであるが、日本人の持つスピリットは確かである。震災後の再開後の指定管理者としての働きも確かなものであり、年間入場者数も震災前の人数を維持している。県内の指定管理者も管理者としての強い思いと戦略がいかに重要なことか再確認する必要がある。</p> <p>女川原発では防潮堤工事を始め、再稼働に向けての状況説明を受けた。浜岡原発も現状をきめ細かく聞き入れ、県民に報告していくことが必要。</p>					

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p style="text-align: right;">平成30年11月30日</p> <p style="text-align: center;">会派名・議員氏名 自民改革会議 野崎 正蔵</p>						
目的	自民改革会議会派視察に参加					
年月日	平成30年11月14日(水)～平成30年11月16日(金)					
場所	宮城県(石ノ森章太郎 漫画館、女川原発、仙台子ども体験プラザ、睦奥国分寺)					
内容	<p>1 行程 2 応対者、3 聴取内容は、別紙報告書参照、 4 県政への反映</p> <p>南海トラフ巨大地震が予想される静岡県において、東日本大震災の被災地から学ぶことは多い。</p> <p>今回は、石ノ森章太郎 漫画館、女川原発、仙台子ども体験プラザ、睦奥国分寺・国分尼寺の視察をおこなった。</p> <p>石ノ森章太郎 漫画館では、開館当時のまちづくりの取り組みや3.11当日の状況や館としての対応、復興の取り組みについて話を伺った。被災後に関しては、まちづくりに対する心の拠り所となった漫画館の存在の大きさを感じた。</p> <p>女川原発では、原子力規制委員会が求める安全対策への取り組みを実際の現場をみながら説明を聞いた。静岡県にも浜岡原発が立地するため、安全対策についての参考としていきたい。</p> <p>仙台子ども体験プラザでは、近年注目を浴びているキャリア教育についての実践を学んだ、とても先進的な取り組みであったこと、カタール国からの被災地復興支援事業を活用しての事業化など参考になる点が多かった。何より、ここで学んだ子どもたちが、この地域で自分の将来像を描く姿は素晴らしいと感じた。</p> <p>睦奥国分寺・国分尼寺では、史跡整備の苦勞と歴史を活かした街づくりについて学んだ、私の住む磐田市にも国分寺があり、今後の整備の参考にしたいと思った。</p>					

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

自民改革会議 県外視察 報告書

視察日

平成30年11月14日(水)～平成30年11月16日(金)

視察場所

宮城県

(石ノ森 漫画館、女川原発、仙台子ども体験プラザ、睦奥国分寺)

11月14日～11月16日
静岡県議会 自民改革会議 様
参加者名簿

(敬称略)

NO.	議員氏名	フリガナ	参加期間
1	森 竹治郎	モリ タケジロウ	11月14日 伊豆急下田～11月16日 伊豆急下田
2	多家 一彦	タガ カズヒコ	11月14日 三島～11月15日 三島
3	落合 慎悟	オチアイ シンゴ	11月15日 石巻～11月15日 藤枝
4	小楠 和男	オグス カズオ	11月14日 浜松～11月16日 浜松
5	藪田 宏行	ヤブタ ヒロユキ	11月14日 静岡～11月16日 静岡
6	渡瀬 典幸	ワタセ ノリユキ	11月14日 袋井～11月16日 袋井
7	野崎 正蔵	ノザキ ショウゾウ	11月14日 豊田町～11月16日 豊田町

【石ノ森萬画館(株式会社街づくりまんぼう)】視察

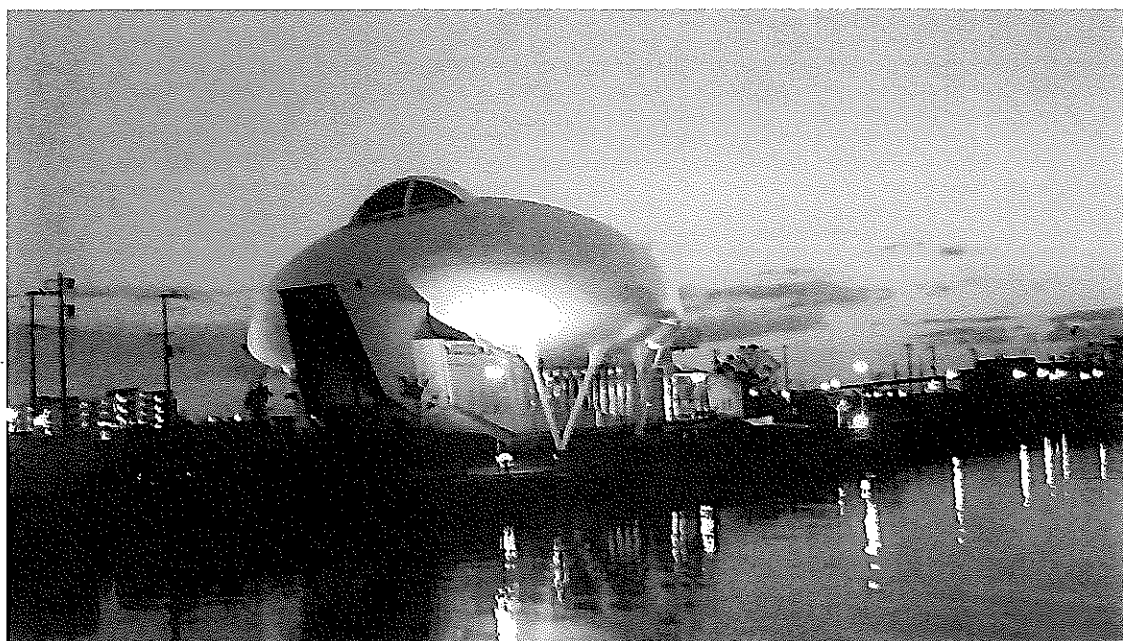
対応者：株式会社街づくりまんぼう 代表取締役社長 西条允敏 氏
株式会社街づくりまんぼう 次長 大森盛太郎 氏

【沿革】

石巻市中瀬に立地する、石ノ森萬画館を視察した。外観は石ノ森章太郎原案の「宇宙船」をイメージした建物である。

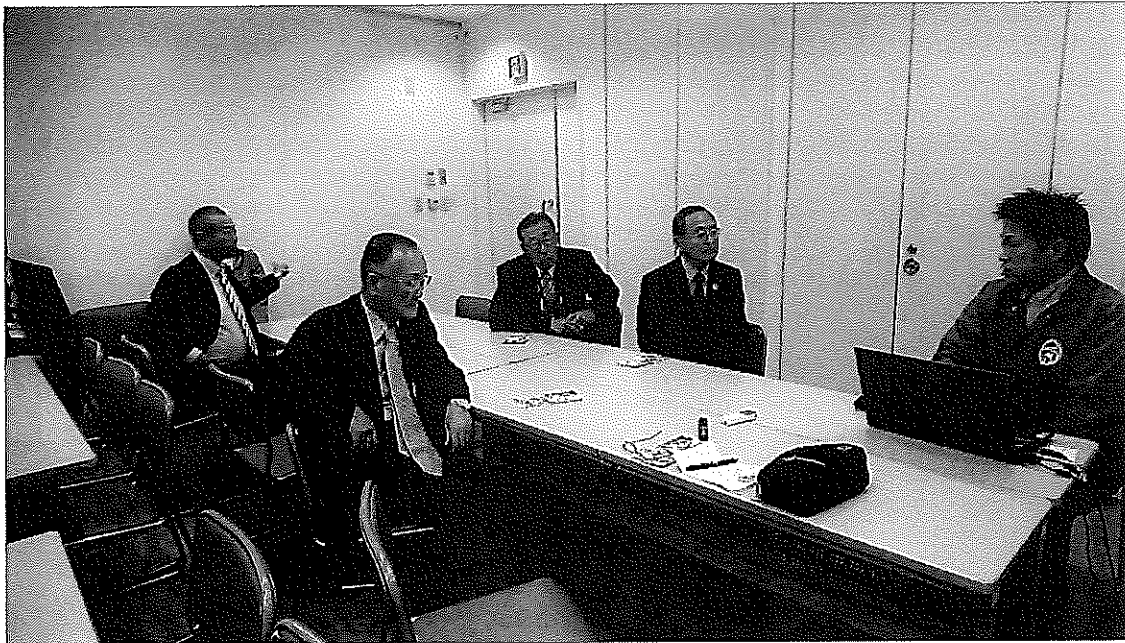
1995年当時の石巻市長は石ノ森章太郎と会談し、すでに中心部に活性化がなく、シャッター通り化となった街を立て直すため「マンガによる町おこし」の協力を要請した。1996年「石巻マンガランド基本構想」を策定するもコンセンサスが得られず、1998年に石ノ森章太郎が亡くなった後2001年石ノ森萬画館を運営受託する第3セクタータウンマネジメント機関「株式会社街づくりまんぼう」を設立。同年7月23日に開館した。指定管理者でもある。

2011年3月11日、東日本大震災にみまわれる。6m~7mの津波をうけたが、チリ地震による津波の教訓から1階の天井の高さが8mに設計されていたため倒壊、流出といった最悪の事態は真逃れた。また、原画の保管や展示は2階、3階で行っていたため、館内に収蔵された物品に被害はなかったもののダメージは大きく、1年8か月ほど休館した。被災した時は、近くの内海橋の上に取り残された人々や、濁流に流されてきた人を助け館内で5日間を過ごした。(40名)



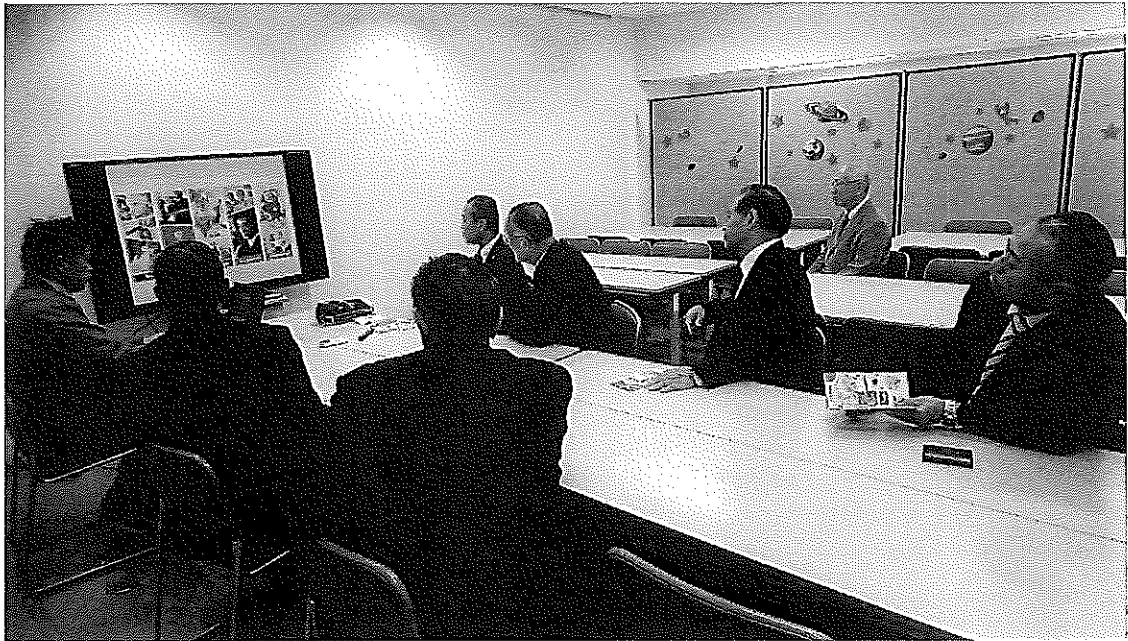
【震災時の状況】

非難した40名がそれぞれ助け合い協力しあった。知らないうちに、がれき撤去、館内清掃、食事係等々、役割分担が出来上がった。特に重要な水分と食料は、イベントで提供する予定のチキンラーメンとくじら漬丼があったため分け合っ
て食べたが避難期間の長期化が予想されたため、食事の量などもルールを決め
不満がおこらないよう注意をしたそうである。5日後に自衛隊が救助に入り、市
役所に避難することができた。その間、館内に残った唯一の職員である大森盛太
郎氏のリーダーシップには頭が下がる思いである。



【震災後の変化】

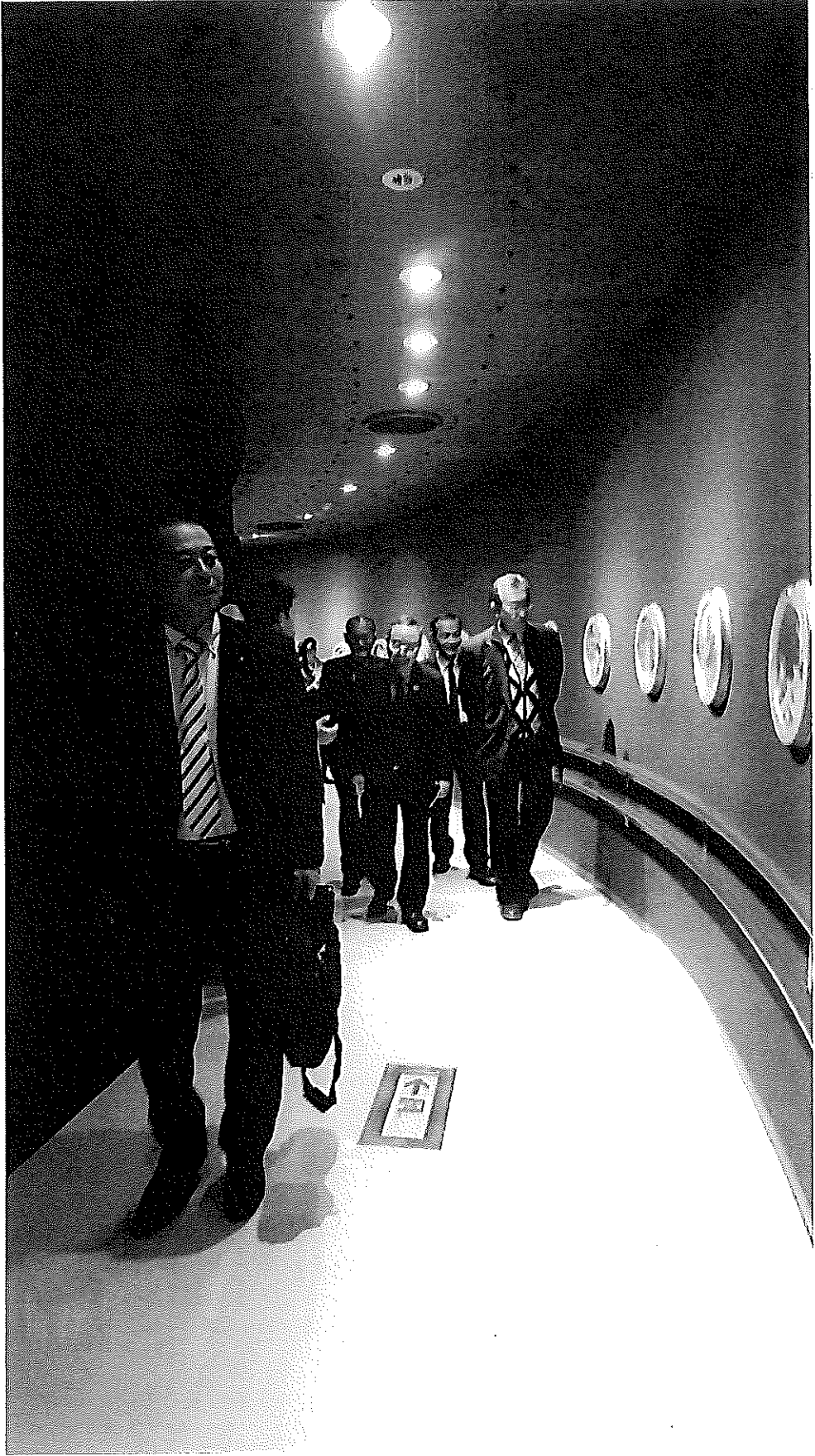
石巻駅から石ノ森萬画館までの約1kmに渡り、石ノ森章太郎作品のモニュメント像が建立する。(石巻マンガロード) このモニュメントのほとんどが津波による被害が無く、がれきでいっぱいの中において輝かしく建立していたとのことでした。このモニュメントが住民に勇気と元気を与えたようで、今まではマンガに対しての拒絶反応が多かったのだが、モニュメントにより「マンガの力」を住民が感じ、否定的な人たちが「がんばれ」と後押しをしてくれた。その後全国からマンガに対する思いの強い方々がボランティアとして応援に駆けつけていただき、復旧が進んだそうであります。住民の人たちの声によって「早く何とかしなければ」との思いが強くなり、炊き出しとかイベントを行い、憔悴しきった住民のために活動をつづけたそうである。石巻市にも協力していただき、萬画館の再開を急ぐこととなり、2012年11月17日に再開館し、その後リニューアルして現在に至る。



【まとめ】

開館した平成 13 年には年間入場者数は 25 万人をかぞえた。その後減少が進み、平成 19 年には 17 万人となり震災時まで 17 万人を維持していた。平成 25 年は 24 万人が訪れたがその後はまた 17 万人を数えています。今後も維持するために様々な企画、商品開発（食品・マンガとのコラボ）等々、魅力的な仕掛けをしていき、萬画館だけではなく街の中を回遊させる。JR 仙石線「マンガタンライナー」とのコラボや SNS のアプリを開発し外からの入場を図り、街全体が潤うものにしたいとのこと。大森次長の夢はまだまだこれからと強くかんじた。

指定管理者としての責任も果しており、管理料は 5000 万円（年間）で黒字経営である。静岡県も指定管理に委託している施設がたくさんある。指定管理者としての強い思いと戦略がいかに重要なことかと再認識した。



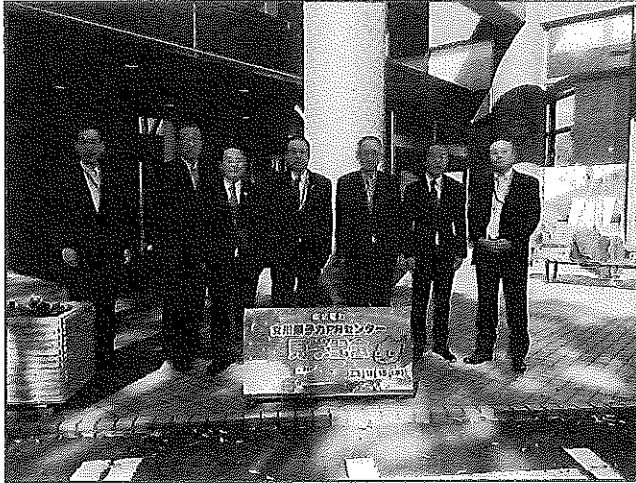


女川原子力発電所視察 平成30年11月15日(木) 9時40分～12時10分

1. 女川原子力PRセンターにて本人確認及び展示物説明

先ずは女川原子力PRセンターにて、発電所入構にあたり必要となる本人確認を行った。このあたりの手続きは中部電力(株)の浜岡原子力発電所と同じである。

警備担当者が本人確認書類の確認、発電所入構登録を行っている時間を利用して、PRセンターの女性スタッフによる展示物の説明を受けた。



2. 発電所入構と概要説明

発電所側で手配したバスに乗り換え、発電所に入構。女川原子力発電所は、PRセンターから山中を縫ってしばらく走ったところにある。このような立地条件の違いは、浜岡原子力発電所と大きく異なるところである。

震災後に竣工した免振建屋である事務新館会議室にて、藪田幹事長より視察受け入れの御礼を述べた後、三澤克発電所長代理及び金泰裕原子炉主任技術者による概要説明を受け、その後、発電所構内を視察。

構内では、新しく嵩上げを図った海拔29mの防潮堤、高台設置の空冷式ディーゼル発電機、各種の対策車両等を、金泰裕原子炉主任技術者の適切な説明を受けながら視察した。



3. 質疑応答

現場視察を終え、再び事務新館会議室に戻り質疑応答。参加した各議員より活発な質問が発せられ、三澤克発電所長代理及び金泰裕原子炉主任技術者から丁寧な回答を頂いた。三澤克発電所長代理の発言で強く印象に残った言葉を記しておく。

「震災当時は仙台に勤務しており、食料調達を担当した。役員から『女川には一番いいものを送れ』との指示があり、最初はヘリで、道路啓開後は軽トラックで送った。体育館に避難した住民には1日2食、発電所の職員には1日1食、途切れず届けることができた。あのような状況のなか頼っていただけたのは我々の大きな誇りであり、地域とともに歩む気持ちを職員皆、強くした。」

仙台子ども体験プラザ 平成 30 年 11 月 15 日 15:00~16:00

対応者 仙台市教育局学校教育部 学びの連携推進室 室長 春日 文隆 氏
仙台市教育局学校教育部 学びの連携推進室 指導主事 松岡 健 氏

視察内容

仙台市では、小・中学校の段階での仙台版「仙台自分づくり教育」の充実と推進を図るため、中東のカタール国からの被災地復興支援事業（カタルフレンド基金）の事業採択を受け、経済教育団体である「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」の教育プログラムを活用し、企業や市民ボランティアと幅広く連携しながら、学習施設である「仙台子ども体験プラザ」において、体験型経済教育（スチューデント・ファイナンスパーク）を実施している。

施設には、小学生高学年を対象とした「スチューデントシティ」と中学生を対象とした「ファイナンスパーク」といったスペースが設けられていた。

小学生高学年を対象とした「スチューデントシティ」では、施設の中に、市役所、銀行、商店、新聞社等の模擬店舗が並び、そこで子ども達は、商品の販売や営業を行ったり、消費者として計画的に買い物したりする体験をする。

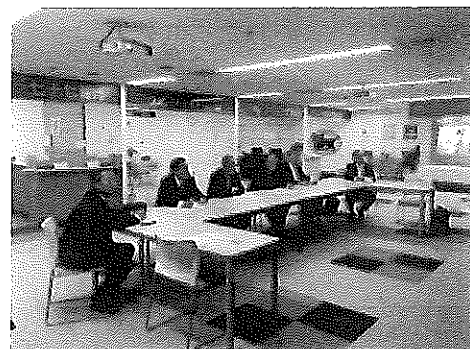
そこで、子ども達は、働く側と買う側の両方の体験を通し、社会の仕組みや経済の働きを理解するとともに、働くことの意義や仕事を通じて支えあっていることを学び、勤労観や職業観を育んでいく取り組みをしている。

中学生を対象とした「ファイナンスパーク」では、「スチューデントシティ」と同様に、施設の中に「街」を再現し、年齢、家族構成、年取等の与えられた条件の中で、一人の社会人として、1カ月の生活設計を行うプログラムが用意されていた。

その生活設計では、税金、保険をはじめ、食費や家賃、物品の購入など、生活費の計画を行うことを通して、金銭感覚や社会の情報を収集したりしながら、判断する力、自分の望むライフスタイルなどを見つけるなど、生活設計力の育成や進路選択・将来設計に繋げる取り組みをしていた。

視察所感

視察時間には、ちょうど中学生の実習活動を見学することができ、実習の感想発表のなかで「自分だけでなく、妻と子どもを最優先する生活をしていきたい」や「親のありがたみがよくわかった」などの感想も聞かれ、体験を通して社会の中で暮らす苦労や楽しみを感じ取っている様子が伺えた。キャリア教育のプログラムも様々であるが、なかなか精度の高いプログラムだと感じた。



陸国分寺・国分尼寺 平成 30 年 11 月 16 日（金） 9:00~10:00

対応者 仙台市教育委員会 生涯学習部文化財課 課長 長島 栄一 氏

視察内容

陸国分寺・国分尼寺には、平成 29 年に建てられたというガイダンス施設があり、そこでガイダンス施設と陸国分寺・国分尼寺の概要説明を受けた。

施設には、陸国分寺・国分尼寺の概要、陸国分寺・国分尼寺の創建、貞観震災からの復興、復旧復興の進展、発掘調査の出土品といった展示スペースと作業や学習をおこなう教室形式のスペースが設けられていた。

続いて、史跡地内を歩きながら各建造物等の説明を受けた。この史跡は、昭和 30 年からの 5 年間の発掘調査によって、242.4 m²と推定され、寺域に南門・中門・金堂・講堂・僧房が南北中軸線上に並んでいること、中門と金堂は複廊式の回廊で結ばれていること、さらに塔は金堂の東にあり、単廊で囲まれていることなど、大規模な伽藍配置が明らかになったという。

天平廻廊は、当時あった廻廊を伝統工法により再現したもので、屋根瓦は陸奥国分尼寺跡から出土した瓦の文様を用いて再現しており、鮮やかな朱色の柱はこの施設全体をイメージづけるものだった。

薬師堂仁王門は、宮城県の文化財に指定されており、間口 5.4m、奥行 3.6mの建物は、江戸時代の建築様式が見てとれた。

七重塔跡は、柱の基礎となる石が据えられおり、当時のモノと復元した時のモノが混合されていた。

白山神社本殿は、二代藩主伊達忠宗によって再建され、宮城県の文化財に指定されている。

薬師堂は、慶長 11 年に伊達政宗によって国分寺金堂跡に再建され、現存する仙台最古の木造建築物の一つで、国指定重要文化財に指定されている。

松尾芭蕉の句碑には、「あやめ草 足に結ばん 草鞋の緒」と刻まれていた。

史跡の整備にあたっては、昭和 43 年より当時史跡内に家などが建っていたため、買い戻しをはじめ、現在、史跡地内を歩いて見学できるように、東園路・中央園路・西園路の整備がされていた。

視察所感

史跡整備はどこも同じく、多額の費用と年月が掛かるものだと感じた。また、整備をするにあたっては、何をどこまで復元できるのか等、構想と計画が大切だと感じた。まちづくりには、物語が必要だというが、当日は、地元の小学生が勉強にきており、郷土の歴史文化を学び街を愛する人になってほしいと願った。

